

様式第1（第15条関係）

会 議 録

会議の名称	平成30年度 第1回 和泉市公共施設マネジメント推進審議会
開催日時	平成31年 2月18日（月） 午前10時から 午前11時30分まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター4階 中集会室
出席者	（委員） 辻壽一会長 佐藤正浩副会長 田中晃代委員 中塚委員 吉弘憲介委員 小川祥委員 桃田清美委員 （事務局） 小泉公室長 木下次長 山崎室長 山本課長 中埜総括主査
会議の議題	公共施設マネジメントの推進について（諮問）
会議の要旨	（会議次第） 1. 開会 2. 諮問「公共施設マネジメントの推進について」 3. その他 4. 閉会
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項（会議の公開・非公開、傍聴人数等）	・会議の形式：公開 ・傍聴人：1人 ・議事録の公開：有り

	審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)
事務局	<p>平成30年度第1回和泉市公共施設マネジメント推進審議会を開催する。 本日議事に入るまでの間、市長公室の木下が司会を務める。 本審議会は和泉市審議会等の設置及び運営に関する規則第10条及び15条の規定に基づき、本日の会議は会議を公開して進行すること、並びに、議事録を作成する必要から録音することを予めご了承願う。また、議事録作成後は、録音内容を消去する。</p> <p>このあとは、和泉市公共施設マネジメント推進審議会規則第6条の規定により、会長に審議会の議長として会議の進行をお願いする。</p>
会長	<p>会議に入る前に、和泉市公共施設マネジメント推進審議会規則第6条第2項の規定により、会議の開催要件の委員の過半数の出席があると認め、本日の議事を進める。</p> <p>また、会議の進め方については、前回の審議会と同様、会議開催の都度、事務局から公共施設マネジメントの取組について諮問を行い、審議会の意見を事務局で取りまとめ、後日各委員に内容を確認していただき、それを答申とする方法でよいか。</p>
委員一同	(異議なし)
会長	<p>それでは、次第2諮問「公共施設マネジメントの推進について」審議する。 事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>諮問和泉政企第3819号、「公共施設マネジメントの推進について」諮問する。 資料1「公共施設マネジメント推進審議会資料」 1. 公共施設の修繕・更新①適切な維持管理による劣化状況・不具合の把握と改善②建物や設備の修繕・更新に係る優先度の整理について説明</p>
会長	説明が終わったが何かあるか。
委員	<p>基本的な方針はまったく問題ないが、全体の計画予算を圧縮する際に、ひとつの考え方であるが、包括事業契約、つまり単発の維持管理計画を個別に進めるのではなく、例えば距離が近い場合に一括で契約するというやり方を検討いただけたらと思う。今後、事業の包括化によって事業費の圧縮や工事によって止まるストックの時間をできるだけ短くするといったアイデアを盛り込んでいただければと思う。</p>
事務局	<p>指摘のとおり近隣で行う工事を一括で行うことが効率的であると思うので今後検討していきたい。</p> <p>また、各施設の維持管理補修を現在、個別に行っているがこれを包括で行い、その維持管理業務の中で一定の営繕工事を委託するという方式もあるのでこれも併せて検討していきたい。</p>
会長	<p>東洋大学の根本先生が千葉県の子孫市との共同研究で修繕の包括契約が有効かという研究をされた。その結果、これまで行政は修繕費を出してこなかったのが、包括委託することで高くなる、また3年という契約期間においていつ不具合がでるのか予測できないため、費用の算定が難しいといった課題がある。大きな費用がかかるような修繕は難しいが、保守点検ぐらいであればなじむのかなと思うが、今後検討していただく余地はあると思う。</p>

事務局	資料1「公共施設マネジメント推進審議会資料」1. 公共施設の修繕・更新③E S C O事業の実施について説明
会長	説明が終わったが何かあるか。
委員	今後の進め方について、各施設の来場者にわかるようにE S C Oをしているといったような説明書を設置するのか。また、工事の影響による閉館等の案内をされるのか。
事務局	今回はエアコンを使わない時期の夜間に工事を行うなど施設の運営に極力影響を与えないよう配慮している。来年度については影響を与えないことを条件にすると工事費が大きくなる可能性があるため、そのバランスを見極めて検討していきたい。
委員	市民にわかりやすく説明することでコスト意識を持っていただく必要があると思う。情報をわかるように伝えていただくことが重要である。
事務局	市民への広報は想定していなかったが、今後検討させていただく。
会長	和泉市が努力をして良いことをしているので、それを市民に理解してもらうことが大切であるということである。
委員	E S C Oについて光熱水費や単価の変動はどのように見込まれているのか。 12年間といった長期間になるので市としてのリスクを考えているほうがいいのではないか。
事務局	試算については基本的には過去3年の光熱水費の使用状況をベースに試算している。大きな気候変動や空調機の設定等を大きく変えた場合には別途協議となる。 単価については電気については公募時点での関西電力の単価、ガス、水道については過去3年間の平均を使用している。 また、E S C Oについては削減量の保障になるので、価格変動リスクについては保障には含まれていない。
事務局	1. 公共施設の修繕・更新④個別施設計画の策定について、事務局から説明。
会長	説明が終わったが何かあるか。
委員	個別施設計画によって、修繕等により機能が一時的に停止・低下する可能性があるかもしれないが、例えば病院や消防署などではひとつの施設においてサービス能力が低下すると他のところでカバーするといったことが必要になるかもしれない。これについては、個別の事業実施の計画において位置づいていると思うが、これと個別施設計画とは整合性を取ってやっていかれるのか。
事務局	中分類ごとにそれぞれの所管ごとに個別施設計画を策定するが、経費や改修等の実施時期については資産マネジメントにおいてそれぞれの計画を集計し、平準化等を行うものである。また、それぞれの施設の機能停止等の対応については、それぞれの所管ごとに対応していくものである。
会長	公共施設等総合管理計画を策定し個別施設をどうするのかという検討に入っていくということであるが、様々な施設がある中、全市的な観点から見ていくという視点がないと担当部署等が強く主張した施設の整備に偏ってしまうといったことを懸念されるがいかがか。

事務局	以前に施設類型による優先度の整理を行っており、これを踏まえながら行っていきたい。
会長	以前、この場で合意があったように「未来をつくる」であったり「いのちと暮らしを守る」といった観点を重視していただきたい。  では続いて、2. 市民や事業者等との連携等による効果的・効率的な市民サービスの提供について、事務局から説明願う。
事務局	2. 市民や事業者等との連携等による効果的・効率的な市民サービスの提供について説明
会長	説明が終わったが何かあるか。
会長	施設カルテのフォントを大きく見やすくしていただきたい。
委員	施設カルテについて、ホームページにそのまま載せるだけなのか、市としてどのように利用し、公共施設の管理・運営を考えるのかといったリード文が入るのか。情報だけが載っているホームページをよく見るが、これは学者、学生等しか見ない。一般の市民にこれを行うことでどういった効果があるのか等の説明が必要だと思う。
事務局	情報を集計することで、例えば市民1人あたりのコスト等を導き出せるので、市民の方にコスト意識を持ってもらうといった啓発等にも使っていきたい。
会長	カルテは施設管理者が作成することになると思うので、しっかり取り組むようになるのではないかと思うが、いかがか。
事務局	施設管理者のコスト意識の向上につながるものと考えている。
委員	参考資料3の裏面のマトリックスについては例えなのか。ソフトの必需性0とかいかなものかと思う。
事務局	例えである。指標等については今後、詳細を検証していきたいと考えている。
会長	必需性ということについては必要か必要でないかを決めるのは市民であるので、慎重にしなければならない。例えば、利用率等であればよいと思う。 カルテの更新はどのくらいの頻度で行なわれるのか。
事務局	年に1回の更新を予定している。
委員	これはエクセルベースだと思うが、システムを組むようなことを検討してもいいと思う。公共施設を管理するためのシステムを業務として出して市内の業者と構築するといったことでもいいのではないか。感覚であるが、エクセルベースだとどこかで更新が止まって担当者が変わるとわからなくなるといったことも起こりえると思う。
会長	全体のコストの把握等を行うといった意味でシステムを導入することが良いのではないか。

事務局	カルテはエクセルであるが、今年度システムを導入しており、そのシステムからエクセルシートが作成される。
事務局	3. 公共施設の最適配置①富秋中学校区（池上小学校区、幸小学校区）について説明
会長	説明が終わったが何かあるか。
委員	市営住宅の入居率はどれくらいか。 また、小中一貫校について議論が進められているというのは、やはり小中学校の児童・生徒が減少しており、富秋中学校区でひとつにまとめて小中一貫校とすれば合理的になるのではないかと思う。 また、南松尾はつが野学園を見学されると地元の人にはこんな立派な学校ができるのかと明るく感じられると思うが、小中一貫校となると例えば富秋中学校を改修して受け入れるといったことになるのか。
事務局	入居率については少し前のデータであるが、約80%である。 富秋中学校区における小中一貫校については、まだ小中一貫校とするということが決定しているわけではなく、今の段階ではこどもの教育環境のためにどういった方法がいいのかということを議論している。 小中一貫校とすることへの不安の声を聞いているが、説明会で実施させていただいたアンケート結果では小中一貫校の検討については必要と感じるといった結果となっている。現在、こどもの教育環境はどうあるべきかという議論を行っており、小中一貫校とするという方針が決定後、具体的な方法の検討に入る予定となっている。
委員	個人的に団地のイメージが暗く感じることもある。これを若い人達がリノベーションを行えるようにすること等により明るいイメージにすることが重要で、若い人への情報発信することが重要だと思う。この資料にもあるようにQRコードを活用することや自分から積極的に参加することは難しいので出前的に説明を行っていただけしていることは大変よいと思う。
事務局	実際、市営住宅の雰囲気は暗い、入居者が少なく何かあった時には心配であるといった声も出ている。 これについて住み替え等も含めて検討していく必要があるという議論や市営住宅は収入制限があり、若い人に入居してもらうために、市営住宅としての用途を廃止し、市営住宅でない住居として使用していくといった方法の検討についても議論している。 また、地域の方が自分の住んでいる地域をより良くしようという取り組みが行われている。みんなの居場所づくりイベントということで、資金調達から全て地域の方のみで実施され、仲間づくり、居場所づくり、子育て支援の充実を目的に開催されたものである。イベントを通じて地域にとって何が必要なのか、何が課題なのかを検討していきたいということから始まった取り組みである。
委員	子育て・教育部会については8回にわたり、160名の参加があり非常に丁寧に説明していると思う。 説明の中で子育て世代の方の参加が少ないので出前を行ったとのことであるが、実際の当事者である保護者等の参加状況や反応はどうなのか。また、富秋中学校区のPTAは仲が良いのでその一体感を見ていると方向性は間違っていないのでは思うがいかがか。

事務局	<p>子育て世代の参加については、部会長は富秋中学校のPTAの会長が担っていたこと、また小学校のPTAもそれぞれ1名参加いただいております、それ以外の方となると2、3名くらいである。</p> <p>小中一貫校に対する不安については、荒れている中学生と小学生が同じ校舎で勉強することにより、悪い影響を早い時期から受けないかといった声が大半である。次回の子育て・教育部会において、小中一貫校とするとした場合に、その不安を払拭するために、地域、学校、保護者でどういったことができるのか、小中一貫校とすると決めた場合でも、すぐに学校が建つわけではないので、建つまでにできることもあるのではないかと検討する予定である。</p>
委員	<p>例えば、PTAの方が今、議論していることが実現するころには、自分のこどもには関係ないということになってしまうので、住民の検討会議だけではなく、専門にこういったことを検討するまちづくり会社のような組織を設立する等を行わないと、住民の検討会議だけでは課題が残るのではないかと思う。</p>
事務局	<p>構想策定後の構想実現に向けた取り組みを含め、どういった組織でまちづくりを進めていくかについて検討していく必要があると考えている。他市では市営住宅の建替え等についてまちづくり会社を設置し進めている事例もあるので、そういった事例も調査しながら、この地域にあったまちづくりの進め方を考えていくべきであると思う。</p>
会長	<p>ある自治体の校長先生と小中一貫について話をした時に、今の6年生は体格的にかなり大人であり、1年生から6年生というくりでするのは時代遅れであり、私達のこどもの頃とは違うので小学1年生から中学3年生までをトータルで見るのがいいということを知った。僕たちの子どもの時と今の子どもは少し違うということ。</p> <p>高齢者の方が賃貸住宅に入れないといった社会問題がある。孤独死等といったリスクを家主が嫌がる。そういう意味でサービス付きの高齢者住宅ということで、最終自分が看取ってもらえるという仕組みがあれば高齢者の方が住みやすいと思う。リタイアした後にケア付きのコミュニティを作っていくという動きがある。和泉市にも高齢者が安心して最後まで住めるというものがあればいいと思う。</p> <p>市営住宅を市の直営でやるのか、PPP/PFI手法で実施するというような検討は行わないのか。</p> <p>例えば、民間事業者が市の土地を賃貸し、民間事業者が賃貸住宅を建て、公営住宅の代わりに住宅を提供し、その家賃は入居者の負担する家賃と民間事業者からの土地の借地料でまかなう等といった検討はできないのか。</p> <p>先ほどのESCO事業のように、PPP/PFI手法を導入することで、行政の職員の仕事量が減るので、他の仕事ができるというような、業務の効率化という観点からも必要ではないかと思うがいかがか。</p>
事務局	<p>構想の策定が目的ではなく、構想をいかに実現していくのが重要であると考えている。市営住宅の建て替え等、多くの工事が必要となり、費用や業務量はかなりの負担となることが想定される。また跡地の活用や地域に必要な施設の誘致等を検討していくにあたり、PPP/PFI手法は有効な手法であると考えており、PPP/PFI手法の導入も念頭に置きながら進めていきたい。</p>
事務局	<p>3. 公共施設の最適配置②槇尾中学校区（横山小学校区、南横山小学校区）、③旧南松尾小学校の活用について、④旧市立病院南館の活用について説明。</p>
会長	<p>説明が終わったが何かあるか。 何もないようなので、とりあえず各委員から一言ずつお願いしたい。</p>

委員	<p>和泉市は積極的にまた、テーマを決めて取り組んでいることに敬意を表したいと思う。</p> <p>先ほど委員の話があったように、確かに小中一貫校となった場合、今、議論しているPTAは実現する頃には現役でなくなる。</p> <p>そこで和泉市が積極的に進めている地域教育協議会という学校、地域、家庭の連携組織ということで、地域が学校を支えようという枠組みができていますので、地域の特色はあるかと思うが、まさに地域教育協議会が機能して新しくできる学校を支えるということができれば、不安なども解消されていくのではないかと思うので、今後もしっかり見守っていききたい。</p>
委員	<p>劣化度判定マニュアル等の資料は興味がないと見ない。わかりやすいというか、興味のわくようなホームページの内容にしていただけたらよいと思う。</p> <p>市営住宅の入居についてもかなり偏っていると思うので、官民が連携し、効率的に利用できるような環境を整えていくことが必要だと思う。シングルの方も多く、安い賃料で入居できる住居は求められていると思うので、リノベーション等を活発に行っていたら、入居者と市にとって両方がいい形で利用できる制度を整えていただきたいと思う。</p>
委員	<p>公共施設を減らしていくと一つの施設がカバーしなければいけない空間的な領域は広がっていく。例えば、小学校、中学校の統廃合について、児童数だけを見るとそういう結論になるが、児童は広がった校区にまんべんなくいる。そうすると通学距離が伸びる。一部の通学路では交通量が多いが、歩道と車道が曖昧なところが見受けられるので、低学年の児童の安全性をどう確保するかを検討する必要がある。歩道の整備といったハードの整備や見守りを増やすといったソフト面の充実といったことが考えられる。統廃合等により安心・安全を損なわないようにということが大前提であり、今後の検討内容に含んでいただきたい。</p> <p>あらゆる公共施設の縮減において施設がカバーしなければいけない領域は広がることによる、サービスの低下をどのようにフォローするかは必ず出てくると思うのでその点は検討いただきたい。</p>
委員	<p>新しいシステムの導入等により、さらなる情報の見える化や自動化といったことを検討していただきたい。この分野は情報の自動化ということに適した案件ではないかと思う。ある施設で起こった問題がシステムとして反映され、自動的に見える化され、市民にわかるかどうかは一步先の話になると思うが、専門家がリアルタイムで管理できるという仕組みを5年くらいの期間で少しずつでも改善していくことが重要であると思う。</p> <p>また、コミュニティの新しさを目指すべきかなと思う。ハードではなくまちづくりだとことを再認識して、例えば桃山大学の先生に入ってもらったり、色々な人に関わってもらい長い時間をかけてこの地域をどうしていくのかということを考えていくという取り組みを行っていただきたい。</p>
委員	<p>学校のあり方を考えるいい機会である。例えば、不登校、いじめ等の社会的な課題をどう解決していくのが重要である。和泉市は市民活動や地域活動がかなり盛んであり、すでにそういった社会課題解決のための活動をされている方が多くいるし、また学校の先生でも退職後に何か学校に関わりたいたいと考えている人が多くいる。</p> <p>地域としてコミュニティを作るということは大事であるが、一方地域外でも市民活動をされている方が多くいるので、そういった人達とうまくマッチングをしていくことが必要で、次のステップになると思うが、多様な方とのネットワークを構築していくことが必要である。</p> <p>小中の統廃合は多くの自治体で検討されていて、通学距離が延びることにより安全・安心を確保するための取り組みが必要となるわけだが、通学路に空き家や施設があると思うが、そういったものをリノベーションしながら市民活動団体に貸すな</p>

委員	<p>ど、小手先だけの仕組みではなく、まち全体で仕組みを考えなければならない時期が来ると思うので、その時に多様な知恵を借りなければ難しいのかなと感じている。</p> <p>検討会議について、これだけの回数を開催しているのに参加者が多い。それだけ自分達のまちのことを皆さんが考えておられる。10年、20年先のことを自分達には関係ないかもしれないが、今きちっとやっておかなければならないとの思いで取り組んでおられるので、見習わなければならぬと思った。</p>
会長	<p>フランシスフクヤマという方が「歴史の終わり」という本を書かれており、内容としては、民主主義が最後の社会体制になるということが書かれており、私も社会体制は改良を行いながらではあるが民主主義がこれからも続くと思う。一方社会システムについては、より便利で、効率的な方向に向かうと思う。光は最も移動距離が短い経路をたどるというフェルマーの原理と同様に、私達の日常生活を考えた時に、例えば今、スマートフォンを使っているが、昔の携帯電話と比較するとかなり便利になってきており、より効率的で人の役に立つものになってきたし、これからもそうなると思う。</p> <p>これから人口が減少していく中で、いかに効率的で人に役に立つ仕組みが求められていくので、色々な改良をしながら、より効率的でより市民にとって利便性が良いシステムをどう構築するかという視点が大事である。そういった意味で和泉市は真摯な取り組みをしており、この分野のひとつのモデルとあるような取り組みかなと考えているので、今後の活躍を期待している。</p>
会長	<p>&lt;その他&gt; 最後に次第3その他ということで何かあるか。</p>
事務局	<p>今後の開催予定については、皆様の任期は今年の7月までとなっておりますので、時期が近づきましたら、改めて連絡する。</p>
会長	<p>それでは、他にないようなので、本日の審議は終了する。</p> <p>なお、この会議は、議事録を作成し公開となるが、議事録の作成方法と確認の方法については、前回同様、要点記録の議事録を作成し、会長である私が確認する。</p> <p>以上</p>